

市長記者会見報告事項概要

令和8年3月24日(火) 午後1時00分～

1. 富海4車線化を祝う会について

- 富海4車線化は、平成23年に事業化されて以来15年の月日をかけ、この3月5日(木)に待望の開通となった。
- これもひとえに、本事業に携わっていただいたすべての皆様のおかげであり、心から感謝と御礼を申し上げたいと思う。
- そうした中で、この感謝を伝え、お祝いしたいという思いから、29日(日)に、富海小中学校において、「富海4車線化を祝う会」を開催する。
- 式典のオープニングは、富海小中学校で代々受け継がれている花笠踊りで飾らせていただく。もちまきもあり、盛り上げたいと思っている。

2. 第6次総合計画について

- 本年4月から始まる、「第6次総合計画 輝き！ほうふプラン」の冊子が完成した。
- 市ホームページ等で公開するほか、この概要版を4月号市広報とともに全世帯にお配りする。
- 計画に基づく事業を新年度からしっかりと進めていく。

3. 有限会社野島海運による感謝状贈呈式及び乗船券のお披露目について

- 猫をテーマとする Art island Akane Biennale2026 で、「入選」した絵画「茜島に行こう」と、コンテストで入賞された作品を元に制作されたカレンダーが、有限会社野島海運に寄贈される

こととなった。

- 絵画「茜島に行こう」には、美しい津久美浜をバックにかわいい猫が描かれている。この絵画をもとに、野島航路の乗船券と、野島小中学校のこどもたちが使用する定期乗船券が、新たなデザインで誕生することとなった。
- 今週28日（土）に、三田尻港船着き場において、感謝状贈呈式と、新しくなった乗船券のお披露目を行う。

4. 令和8年度人事異動について

- この度の人事異動については、令和8年度は防府の「未来をつくる」第6次総合計画の初年度であることから、計画を着実に遂行できることを念頭に置き、最適の人材を年齢バランスも考慮した上で、総合的な組織力が最大となるよう編成させていただいた。
- その結果、異動者数については、412人となっている。昨年よりは減少している。

<特別職人事>

- 上下水道事業管理者につきまして、河内政昭氏から、この3月末をもって退職したいと申し出があった。その後任に、現在、総務部長の白井智浩を充てることとした。
- 白井氏は、市政全般に精通し、管理者としての責務を遂行しうる知識と能力を有しており、適任と判断し、任命するものである。

<幹部職員人事>

一部長級

- 総務部長には、現 保健こども部長の石丸典子を充てることとした。新たな視点から、第6次総合計画に掲げる諸施策を持ち前の行動力を活かし、スピード感をもって実行してくれることを期待している。
- 総合政策部長には、現 総合政策部 政策推進監の宮本松典を充てることとした。この1年間は政策推進監として第6次総合計画に向け、野島活性化プロジェクトなど、地方創生のチャレンジにスピード感を持って取り組んでくれた。この経験と調整力を活かして第6次総合計画を着実に進めてくれることを期待している。
- 福祉部長には、現 総合政策部長の永松勉を充てることとした。コロナ禍において、新型コロナウイルスワクチン接種対策室長として尽力した実績や、総合政策部長として諸施策に取り組んできた経験を活かし、本市の課題である福祉施策の充実を図るとともに、障害福祉施設の建替整備を着実に進めてくれることを期待している。
- 保健こども部長には、現 保健こども部次長の尾中克則を充てることとした。保健こども部次長としての2年間の経験や長年の人事行政で培った調整力を活かし、多様な専門職と連携を図りながら「未来を拓くこどもの育成」をしっかりと推進してくれることを期待している。
- 産業振興部長には、現 総務部危機管理監の齊藤忍を充てることとした。防災危機管理課長や危機管理監として6年間、本市

の危機管理に尽くしてくれた。その経験を活かし、商工業における昨今の中東情勢の緊迫化に伴う原油高騰の影響などの懸念に対して、的確な対応をとってくれることを期待している。

- 会計管理者には、現 生活環境部次長の廣中一秀を充てることとした。第6次総合計画の着実な実施のため、適正に現金取扱業務を遂行してくれることを期待している。
- 教育部長には、現 福祉部次長の伊藤忍を充てることとした。庁舎建設で手腕を発揮した経験を活かし、公民館3館の建替整備をしっかりと進めるとともに、「教育のまち日本一の学びづくり」に向けて諸施策に取り組んでくれることを期待している。

一部次長級

- 今年は市制施行90周年である。防府商工会議所をはじめとする各種団体や市民の皆様と一体となって、多彩なイベントで90周年を盛り上げ、その力を、100周年に向けての推進力とする必要がある。そのため、文化スポーツ観光交流部に交流拡大担当としての部次長を新設し、現在、防府観光コンベンション協会に派遣している犬塚要二を充てることとした。派遣での経験やこれまでの人脈を活かしてくれることを期待している。

一幹部職員の女性割合

- 防府市では、女性登用はかなり進んでいる。適材適所の結果である。
- 総務部長の石丸典子をはじめ、新たに部次長となった6人のうち3人が女性職員となっている。
- そうした結果、部次長以上の幹部における女性職員は前年より

増えて過去最大となっている。部長級が2名、部次長級が5名の計7名となっている。

- また、上下水道局においても、総務課長に女性を配置しており、初の上下水道局での女性の課長となる。

－主な組織体制強化－

- 令和8年度は第6次総合計画の初年度としてスピード感をもって、計画に掲げる重点プロジェクトを進めていかなければならない。特に、南海トラフ巨大地震等に備え、安全・安心を支える「防災都市ほうふ」の構築に向け、災害時に避難所ともなる公民館の、中関、大道、華浦公民館の3館建替えと、障害福祉施設 愛光園、大平園、なかよし園の現在地での建替えを進めていく必要がある。
- そのため、各部次長をトップとし、教育部に公民館整備推進室を、福祉部に障害福祉施設整備推進室を設置し、建替整備を着実に進めていく。
- なお、これまで進めてきた安全・安心を第一にしたまちづくりを更に押し進める必要があることから、土木都市建設部の道路課内に防災都市整備推進室を設置する。

－人事交流－

- 市からの派遣として、山口県市町課に1人、防府市農業公社に1人、また、東京にある 一般財団法人 地域活性化センターに1人派遣する。これらは、今派遣している職員との交替である。
- そうした中で、新たに、滋賀県にある 公益財団法人 全国市町村研修財団（通称、アカデミー）に1人、派遣するこ

ととしている。

- いずれの職員も、派遣先では、様々な人と出会い、多くの経験を積み、幅広い知識を習得することができるため、将来にわたる市の有益な人材の育成につながるものと考えている。
- 山口県からの派遣については、令和5年度から3年間、政策推進課で第6次総合計画の策定に尽力いただいた辻田直樹さんが山口県に戻り、新たに若手職員1名の派遣を受ける。宮崎葵さん、27歳の職員を総合政策部 政策推進課に迎え入れる。
- 国土交通省との人事交流については、令和5年度末に、市職員を退職し、国土交通省本省の係長として採用された職員を、再度、市職員として採用し、道路課防災都市整備推進室に配置する。国土交通省の本省勤務で培った経験を発揮し、「防災都市ほうふ」の構築に尽力いただきたいと思っている。また、新たに職員1人を割愛で、国土交通省中国地方整備局へ派遣することとしている。